

# 爪水虫の治療

## ① 爪水虫について

水虫は白癬菌というカビの一種が皮膚に寄生して起こる身近な感染症です。白癬菌は皮膚の表面をおおっている角層の成分であるケラチンというタンパク質を栄養源としていることから、足だけでなく体のどこにでも、さらには皮膚の一部である爪や髪の毛にも寄生します。爪水虫になると、爪は白く濁り、変形し、ぼろぼろ欠けてきます。

## ② 爪水虫と紛らわしい皮膚病

爪にできる皮膚病は水虫だけではなくありません。爪水虫と区別すべき主な疾患として、爪乾癬、爪扁平苔癬、厚硬爪、爪甲栄養障害などがあげられます。爪水虫と診断するために

は、白色〜黄褐色に濁り分厚くもろくなっている爪の部分ピンセットやメスで採取し、その中に白癬菌がいるかどうか、顕微鏡を使って調べます。

## ③ 爪水虫の治療は飲み薬で

爪水虫の治療には飲み薬を用いた治療法が主に適用されています。飲み方には約6カ月毎日飲む方法と、「パルス療法」があります。「パルス療法」とは、1週間薬を飲み、3週間は服用を休むサイクルを3回繰り返す治療法です。3カ月のうち、服用期間は合計21日間になります。飲み薬の副作用としては肝障害、血液障害があげられます。そのため、血液検査を時々行い、副作用をチェックする必要があります。

## ④ 外用の工夫

飲み薬には、薬の相互作用に注意が必要なものもあります。また、値段が高く、治療費がかさむといった問題もあります。飲み薬の有効率はだいたい75%程度です。内服ができない、あるいは内服を希望しない場合には、塗り薬の適用となりますが、通常の塗り薬のみでは有効率が極めて低いため、外用の工夫、物理的治療の併用などが必要になります。外用法の工夫としては密着療法、尿素軟膏の併用、物理的治療としては爪甲研磨術、爪甲除去などがあります。当科でも物理的治療を積極的に取り入れ、ニツパーなどを用いて病爪を薄く削り、塗り薬がより浸透するよう努めています。



庄原赤十字病院 皮膚科 大原直樹

## 公文書の公開と個人情報の運用状況

総務課行政係

0824-731123

平成19年度の庄原市の実施機関が持つ公文書の公開および個人情報の運用状況をお知らせします。市は、市民の皆さんの公文書の公開を求める権利を明らかにし、市政に關する情報の公開について適正に行い、開かれた

市政を推進することに努めています。また、その一方で個人情報の保護が重要であることを認識し、市が保有する個人情報について、保護条例を制定しています。

### ① 公文書の開示請求などの状況 (H20.3.31現在)

請求を受けた機関	請求件数	公開・非公開などの内訳		
		公開	部分公開	非公開
市長	38	26	1	11
教育委員会	8	4	2	2
議会	2	1	—	1
合計	48	31	3	14

### ② 個人情報ファイルの届け出件数および自己情報開示等請求件数 (H20.3.31現在)

実施機関区分	ファイルの届け出件数	開示請求件数	公開・非公開決定などの内訳	
			公開	非公開
市長	223	—	—	—
教育委員会	13	—	—	—
選挙管理委員会	19	—	—	—
監査委員	1	—	—	—
公平委員会	1	—	—	—
農業委員会	5	—	—	—
水道事業管理者	6	—	—	—
病院管理者	4	—	—	—
議会	2	—	—	—
合計	274	—	—	—

(平成19年度中、個人情報に関する訂正、削除および中止の請求はありませんでした。)  
※個人情報ファイルの届け出件数とは、各課において個人情報を扱っている文書の届け出件数のことです。